

# 第92回 簿記実務検定第1級試験問題

原価計算

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

|        |         |   |          |   |         |
|--------|---------|---|----------|---|---------|
| 当座預金   | 製品      | / | 級製品      | 2 | 級製品     |
| 副産物    | 仕損品     |   | 健康保険料預り金 |   | 健康保険料   |
| 減価償却費  | 仕損費     |   | 製造       |   | 第/工程製造  |
| 第2工程製造 | 製造間接費   |   | 第/製造部門費  |   | 第2製造部門費 |
| 動力部門費  | 工場事務部門費 |   | 本        |   | 社       |
|        |         |   | 工        |   | 場       |

- a. 単純総合原価計算を採用している新潟製作所は、月末に工場の機械に対する減価償却費の月割額を消費高として計上した。ただし、/年分の減価償却費は ¥264,000 である。
- b. 個別原価計算を採用している滋賀製作所では、補助部門費を次の配賦基準によって各製造部門に配賦した。ただし、部門費配分表に集計された補助部門費の金額は、動力部門費 ¥504,000 工場事務部門費 ¥288,000 であった。

|         | 配賦基準      | 第/製造部門     | 第2製造部門     |
|---------|-----------|------------|------------|
| 動力部門費   | kW数×運転時間数 | 50kW×600時間 | 30kW×500時間 |
| 工場事務部門費 | 従業員数      | 6人         | 2人         |

- c. 等級別総合原価計算を採用している福井工業株式会社において、/級製品 400個と2級製品 500個が完成するとともに副産物が発生した。ただし、総合原価は ¥4,780,000 であり、そのうち副産物の評価額は ¥380,000 であった。なお、等価係数は次の各製品/個あたりの重量を基準としている。  
/級製品 150g 2級製品 100g
- d. 工場会計が独立している京都製作所の本社は、工場の従業員に対する健康保険料 ¥864,000 を小切手を振り出して支払った。ただし、健康保険料のうち半額は事業主負担分であり、半額は従業員負担分である。なお、健康保険料預り金勘定は本社にのみ設けてある。(本社の仕訳)
- e. 工程別総合原価計算を採用している大阪製作所は、月末に工程別総合原価計算表を次のとおり作成し、各工程の完成品原価を計上した。なお、第/工程の完成品はすべて第2工程(最終工程)に引き渡している。

工程別総合原価計算表 (一部)

令和〇年8月分

| 摘要        | 第/工程      | 第2工程      |
|-----------|-----------|-----------|
| 工程個別費 素材費 | 1,827,000 | —         |
| 前工程費      | —         | 3,500,000 |
| 工程完成品原価   | 3,500,000 | 5,200,000 |
| 工程完成品数量   | 2,500個    | 2,000個    |
| 工程単価      | ¥ 1,400   | ¥ 2,600   |

- f. 個別原価計算を採用している奈良工業株式会社は、補修指図書 #26-1 に集計された製造原価 ¥112,000 を仕損費勘定に計上していたが、本日、これを製造指図書 #26 に賦課した。

**2** 兵庫製作所は、組別総合原価計算を採用し、A組製品とB組製品を製造している。下記の資料によって、

- (1) 組別総合原価計算表を完成しなさい。
  - (2) A組製造勘定を完成しなさい。
- ただし、
- i 組間接費は直接労務費を基準として配賦する。
  - ii 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
  - iii 月末仕掛品原価の計算は先入先出法による。

資 料

a. 月初仕掛品原価

A組 ￥1,432,000 (素材費 ￥955,000 加工費 ￥477,000)

B組 ￥594,000 (素材費 ￥411,000 加工費 ￥183,000)

b. 当月製造費用

|       | A組直接費      | B組直接費      | 組間接費      |
|-------|------------|------------|-----------|
| 材 料 費 | ￥4,050,000 | ￥1,955,000 | ￥ 229,000 |
| 労 務 費 | ￥2,520,000 | ￥1,080,000 | ￥ 559,000 |
| 経 費   | ￥ 950,000  | ￥ 212,000  | ￥ 112,000 |

c. 生産データ

|       | A組     |            | B組     |            |
|-------|--------|------------|--------|------------|
| 月初仕掛品 | 1,000個 | (加工進捗度50%) | 500個   | (加工進捗度60%) |
| 当月投入  | 4,500個 |            | 2,300個 |            |
| 合 計   | 5,500個 |            | 2,800個 |            |
| 月末仕掛品 | 1,500個 | (加工進捗度40%) | 600個   | (加工進捗度50%) |
| 完 成 品 | 4,000個 |            | 2,200個 |            |

**3** 次の各問いに答えなさい。

- (1) 富山製作所における当期(令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日)の勘定記録・製造原価報告書・損益計算書(一部)・貸借対照表(一部)により、(ア)から(ウ)に入る金額を求めなさい。ただし、会計期間は原価計算期間と一致しているものとする。

| 製 造           |         |
|---------------|---------|
| 前期繰越( )       | 製 品 ( ) |
| 素 材 2,240,000 | 次期繰越( ) |
| 賃 金 ( )       | /       |
| 外注加工賃 740,000 |         |
| 製造間接費( )      |         |
| ( )           |         |

| 製 造 間 接 費     |         |
|---------------|---------|
| 工場消耗品 340,000 | 製 造 ( ) |
| 賃 金 403,000   | /       |
| 給 料 520,000   |         |
| 減価償却費(ア)      |         |
| 電 力 料 420,000 |         |
| 雑 費 48,000    |         |
| ( )           |         |

| 製 品       |           |
|-----------|-----------|
| 前期繰越( )   | 売上原価( )   |
| 製 造 ( )   | 次期繰越( )   |
| 7,243,000 | 7,243,000 |

| 製造原価報告書  |                             |
|----------|-----------------------------|
| 富山製作所    | 令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日 (単位:円) |
| I 材 料 費  | ( )                         |
| II 労 務 費 | 2,280,000                   |
| III 経 費  | 1,880,000                   |
| 当期製造費用   | ( )                         |
| 期首仕掛品棚卸高 | 320,000                     |
| 合 計      | ( )                         |
| 期末仕掛品棚卸高 | 360,000                     |
| 当期製品製造原価 | (イ)                         |

| 損益計算書(一部) |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 富山製作所     | 令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日 (単位:円) |
| I 売 上 高   | 8,640,000                   |
| II 売上原価   | ( )                         |
| 売上総利益     | (ウ)                         |

| 貸借対照表(一部) |                   |
|-----------|-------------------|
| 富山製作所     | 令和〇年/2月3/日 (単位:円) |
| 製 品       | 720,000           |
| 仕 掛 品     | ( )               |

- (2) 単純総合原価計算を採用している和歌山製作所の次の資料から、完成品単価を求めなさい。  
 ただし、i 素材は製造着手のときに投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。  
 ii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。  
 iii 正常減損は製造工程の終点で発生しており、正常減損費は完成品のみを負担させる。

資 料

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| ① 生産データ                | ② 月初仕掛品原価       |
| 月初仕掛品 600kg (加工進捗度50%) | 素材費 ¥ 348,000   |
| 当月投入 5,900kg           | 加工費 ¥ 405,000   |
| 合計 6,500kg             | ③ 当月製造費用        |
| 月末仕掛品 800kg (加工進捗度60%) | 素材費 ¥ 3,292,000 |
| 正常減損 100kg             | 加工費 ¥ 8,247,000 |
| 完成品 5,600kg            |                 |

- (3) 石川製作所では、直接原価計算をおこない利益計画をたてている。当月における下記の資料から、次の金額または数量を求めなさい。

- a. 販売数量が3,600個のときの営業利益      b. 損益分岐点の売上高  
 c. 目標営業利益 ¥5,460,000 を達成するための販売数量

資 料

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ① 販売単価 ¥3,500          | ③ 販売費及び一般管理費          |
| ② 製造費用                 | 変動販売費 (製品/個あたり) ¥450  |
| 変動製造費 (製品/個あたり) ¥1,230 | 固定販売費及び一般管理費 ¥970,000 |
| 固定製造間接費 ¥1,760,000     |                       |

- (4) 標準原価計算を採用している三重製作所の当月における下記の資料から、次の金額を求めなさい。

- a. 月末仕掛品の標準原価      b. 材料消費価格差異      c. 作業時間差異  
 ただし、i 直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

- ii 解答欄の ( ) のなかに不利差異の場合は (不利)、有利差異の場合は (有利) と記入すること。

資 料

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ① 標準原価カード               | ② 生産データ               |
| A製品                     | 月初仕掛品 400個 (加工進捗度50%) |
| 標準消費数量 標準単価 金額          | 当月投入 1,200個           |
| 直接材料費 4kg ¥600 ¥2,400   | 合計 1,600個             |
| 標準直接作業時間 標準賃率           | 月末仕掛品 500個 (加工進捗度40%) |
| 直接労務費 3時間 ¥1,000 ¥3,000 | 完成品 1,100個            |
| 標準直接作業時間 標準配賦率          | ③ 実際直接材料費 ¥2,891,000  |
| 製造間接費 3時間 ¥800 ¥2,400   | 実際消費数量 4,900kg        |
| 製品/個あたりの標準原価 ¥7,800     | 実際単価 ¥590             |
|                         | ④ 実際直接労務費             |
|                         | 実際直接作業時間 3,400時間      |

- (5) 次の  にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

製造中に生じた材料の削りくずや残りくずなどを  ア  といい、売却価値または利用価値を見積もって評価するが、その発生額が製造指図書ごとに区別できない場合は、評価額を  イ  から差し引く。

1. 直接材料費      2. 製造間接費      3. 副産物      4. 作業くず

4 個別原価計算を採用している北海道製作所の下記の取引（一部）によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) 6月30日①の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 消費賃金勘定・製造勘定・製造間接費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) A製品（製造指図書#1）の原価計算表を作成しなさい。

ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

|                |                        |          |    |          |
|----------------|------------------------|----------|----|----------|
| 素 材            | 200個                   | @ ¥3,125 | ¥  | 625,000  |
| 工場消耗品          | 240〃                   | 〃〃       | 50 | ¥ 12,000 |
| 仕 掛 品（製造指図書#1） | ¥3,030,000（原価計算表に記入済み） |          |    |          |

- ii 素材の消費高の計算は移動平均法、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥1,400 の予定賃率を用いて計算し、消費賃金勘定を設けて記帳している。
- iv 製造間接費は直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 年間製造間接費予定額（予算額）   | ¥12,696,000 |
| 年間予定直接作業時間（基準操業度） | 27,600時間    |

- v 製造間接費勘定を設けている。

- (4) 製造間接費配賦差異における次の資料から、予算差異の金額を求めなさい。なお、解答欄の（ ）のなかは借方差異の場合は借方、貸方差異の場合は貸方を○で囲むこと。

資 料

- a. 製造間接費については公式法変動予算により予算を設定して予定配賦をおこなっている。
- b. 月間の基準操業度（直接作業時間）は2,300時間である。
- c. 月間の製造間接費予算額 ¥1,058,000（変動費率 ¥260 固定費予算額 ¥460,000）である。
- d. 当月の実際直接作業時間は2,200時間であった。
- e. 当月の実際製造間接費発生額は ¥984,000 であった。

取 引（一部）

6月 8日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

|       |      |          |    |           |
|-------|------|----------|----|-----------|
| 素 材   | 500個 | @ ¥3,300 | ¥  | 1,650,000 |
| 工場消耗品 | 900〃 | 〃〃       | 50 | ¥ 45,000  |

12日 B製品（製造指図書#2）の注文を受け、素材500個を消費して製造を開始した。

25日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

|        |            |          |         |          |
|--------|------------|----------|---------|----------|
| 賃金総額   | ¥3,550,000 |          |         |          |
| うち、控除額 | 所得 税       | ¥274,000 | 健康 保険 料 | ¥143,000 |

26日 A製品（製造指図書#1）300個が完成した。なお、A製品の賃金予定消費高と製造間接費予定配賦高を、次の作業時間によって計算し、原価計算表に記入した。ただし、賃金予定消費高と製造間接費予定配賦高を計上する仕訳は、月末におこなっている。

製造指図書#1 / 1,200時間

- 30日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は180個であった。よって、消費高を計上した。（間接材料）
- ② 当月の賃金予定消費高を次の作業時間によって計上した。ただし、消費賃金勘定を設けている。  
製造指図書#1 / 1,200時間 製造指図書#2 / 1,000時間 間接作業 300時間
- ③ 健康保険料の事業主負担分 ¥143,000 を計上した。
- ④ 当月の製造経費消費高を計上した。  
外注加工賃 ¥168,000（製造指図書#2） 電 力 料 ¥157,000  
減価償却費 204,000 雑 費 12,000
- ⑤ 上記②の直接作業時間によって、製造間接費を予定配賦した。
- ⑥ 当月の賃金実際消費高 ¥3,525,000 を計上した。
- ⑦ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。
- ⑧ 製造間接費の予定配賦高と実際発生額との差額を、製造間接費配賦差異勘定に振り替えた。

第92回 簿記実務検定 1級 原価計算 [解答用紙]

| 1 | 借 方 | 貸 方 |
|---|-----|-----|
| a |     |     |
| b |     |     |
| c |     |     |
| d |     |     |
| e |     |     |
| f |     |     |

|                |  |                |  |                |  |                |  |     |  |
|----------------|--|----------------|--|----------------|--|----------------|--|-----|--|
| <b>1</b><br>得点 |  | <b>2</b><br>得点 |  | <b>3</b><br>得点 |  | <b>4</b><br>得点 |  | 総得点 |  |
|----------------|--|----------------|--|----------------|--|----------------|--|-----|--|

|         |         |
|---------|---------|
| 試 験 場 校 | 受 験 番 号 |
|         |         |

**2**

(1)

組別総合原価計算表  
令和〇年〇月分

| 摘 要         | A 組     | B 組     |
|-------------|---------|---------|
| 組 直 接 費 素材費 |         |         |
| 加工費         |         |         |
| 組 間 接 費 加工費 |         |         |
| 当 月 製 造 費 用 |         |         |
| 月初仕掛品原価 素材費 | 955,000 | 411,000 |
| 加工費         | 477,000 | 183,000 |
| 計           |         |         |
| 月末仕掛品原価 素材費 |         | 510,000 |
| 加工費         | 600,000 |         |
| 完 成 品 原 価   |         |         |
| 完 成 品 数 量   | 個       | 個       |
| 製 品 単 価     | ¥       | ¥       |

(2)

A 組 製 造

|           |           |             |
|-----------|-----------|-------------|
| 前 月 繰 越   | 1,432,000 | ( ) ( )     |
| 素 材       | 4,050,000 | 次 月 繰 越 ( ) |
| 労 務 費 ( ) |           |             |
| 経 費 ( )   |           |             |
| ( ) ( )   |           |             |
| ( )       |           | ( )         |

**2**  
得点

**3**

(1)

|   |   |
|---|---|
| ア | ¥ |
| イ | ¥ |
| ウ | ¥ |

(2)

|             |
|-------------|
| 完 成 品 単 価 ¥ |
|-------------|

(3)

|   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| a | 販売数量が3,600個<br>のときの営業利益 ¥           |
| b | 損益分岐点の売上高 ¥                         |
| c | 目標営業利益 ¥5,460,000<br>を達成するための販売数量 個 |

(4)

|   |                |
|---|----------------|
| a | 月末仕掛品の標準原価 ¥   |
| b | 材料消費価格差異 ¥ ( ) |
| c | 作業時間差異 ¥ ( )   |

(5)

|   |   |
|---|---|
| ア | イ |
|   |   |

|                |  |
|----------------|--|
| <b>3</b><br>得点 |  |
|----------------|--|

**4**

(1)

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
|        | 借 方 | 貸 方 |
| 6月30日① |     |     |

(2)

|           |           |
|-----------|-----------|
| 消 費 賃 金   |           |
|           |           |
| 製 造       |           |
| 6/1 前月繰越  | 3,030,000 |
| 製 造 間 接 費 |           |
|           |           |

(3) 製造指図書# / 原 価 計 算 表

| 直接材料費     | 直接労務費   | 製造間接費   | 集 計     |     |
|-----------|---------|---------|---------|-----|
|           |         |         | 摘 要     | 金 額 |
| 2,100,000 | 700,000 | 230,000 | 直接材料費   |     |
|           |         |         | 直接労務費   |     |
|           |         |         | 製造間接費   |     |
|           |         |         | 製 造 原 価 |     |
|           |         |         | 完成品数量   | 個   |
|           |         |         | 製 品 単 価 | ¥   |

(4) 予 算 差 異 ¥ (借方・貸方)

※ (借方・貸方) のいずれかを○で囲むこと

|          |  |
|----------|--|
| <b>4</b> |  |
| 得点       |  |